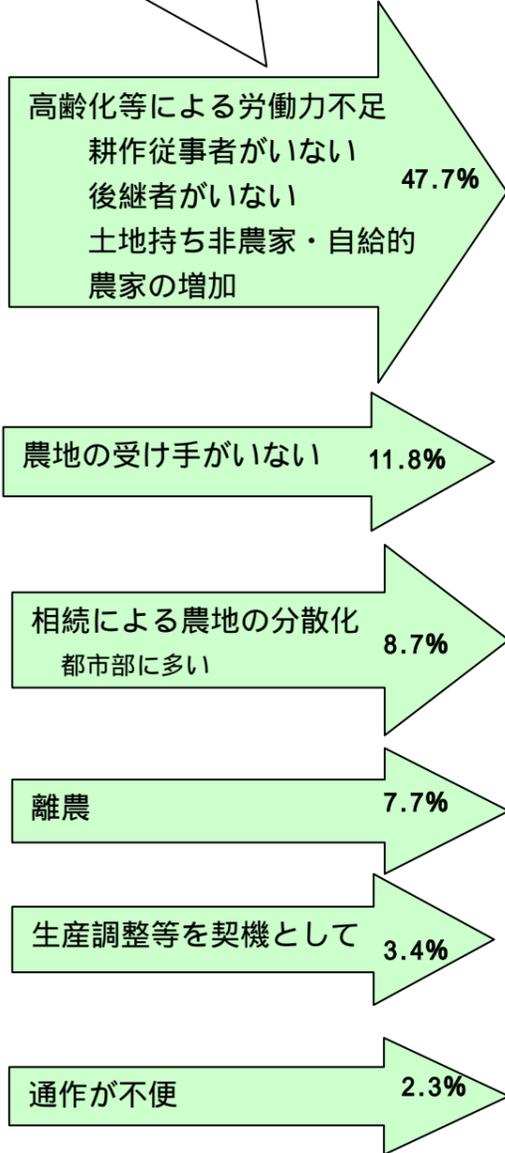


鎌倉の遊休農地の把握（所在・発生原因など）

国内都市部の発生原因
農政調査委員会「農業振興地域・農地制度の実態把握及び効果分析に関する調査結果（平成16年2月）」



遊休農地の振り分け

農業経営基盤強化促進法などに基づく
遊休農地解消対策

(1) 農振農用地区域内の遊休農地や
遊休農地が懸念される農地等
将来にわたって適切な農地利用を促進
耕作再開
担い手への集積
新規参入の促進
その他の活用

(2) 農振農用地区域外の遊休農地等
(市街化調整区域・市街化区域)
生産緑地は農地利用とする
市民農園利用
市街化区域内農地は、転用可能

参考: 鎌倉市では平成17年度から農業委員会を中心に「鎌倉市遊休農地解消対策協議会」を設置し、関谷の農業振興地域内の遊休農地で復元作業を行っています。

農道整備・補修
土地改良（区画整理）事業 など

遊休農地解消策

耕作再開

- ア 自ら再生作業(障害物除去、深耕、整地など)をし、耕作再開する。
- イ 自ら再生作業できない場合
 - ・行政が ... 再生作業への支援
 - ・JAや農業者と ... 再生後の利用も考え、JAや地元農家と一緒に再生作業
耕作放棄地地域対策協議会の補助金に対する国の補助
(5年間の営農が見込まれること)
 - ・市民が ... 再生作業への参加できるようにしくみ

担い手への集積

- ア 意欲ある担い手への利用集積の推進
 - ・所有者と利用者のマッチング
 - ・登録制度の導入、情報交換の場づくり
 - 集積による効率的な圃場形成を意識する
- イ 農業従事者の確保
 - ・共同事業者や従事者の雇用
- ウ 援農ボランティア
 - ・担い手の労働力を補完する仕組み

新規参入の促進

- ア 所有者と新規参入希望者とのマッチング
- イ 農業者育成機関との連携によるインターンシップ制度

その他の活用

- ア 市民と農家が農地を利用する方法
 - ・農家開設型の体験農園による活用
横浜市など、都市近郊農地の利用
農家が経営する市民農園で、畑の準備から・種・苗の準備、栽培指導を開設農家が行い、利用者は指示に従って農作業を体験する。農家が先生となった教室方式の「体験農園」